

## 総合防災訓練(引取なし)

関東大震災が起きた9月1日に合わせて横浜市では総合防災訓練を行っています。本校でも、今年度は9月1日(金)に大規模地震及び風水害を想定した訓練を実施します。日程等の関係で引取下校は行いませんが、児童がその意味や必要性を理解できるように指導してまいりますので、御理解と御協力をよろしく申し上げます。



## 授業公開について

次のように、全学年授業公開を予定しています。今回は、懇談会は行いません。お子さんの学校での様子をぜひ御覧ください。

**日時：9月21日(木) 13:50~14:35**

- 〈御来校の際のお願い〉
- ・入校証・上履き(スリッパ等)をお持ちください。
  - ・外履きは、靴袋に入れてお持ちください。



## 運動会練習が始まります

10月21日(土)に運動会を実施します。それに向けて、8月30日(水)の集会で色分けが行われます。子どもたちは、今年はこちらの組が何色になるのか楽しみに胸を膨らませています。また、運動会練習が9月25日(月)から始まります。今年度も安全面や熱中症等への対策を講じながらの活動となります。次の点について各家庭でも御確認をお願いします。

- ・体育着、赤白帽子、水筒、タオルの御用意をお願いします。
- ・熱中症対策を考慮し水分の量を調整してください。
- ・体育着の洗濯が間に合わない場合は、他の白色Tシャツ・黒や紺のズボンを代用してもかまいません。運動会当日は、体育着で臨むことができるように調整をお願いします。
- ・髪が長いお子さんは、ゴム等で結ぶようお願いします。

【9月の練習予定】※天候等により変更となる場合があります。

日	曜日	1・2時間目	3・4時間目
25	月	中学年	高学年
26	火	中学年	低学年
27	水	低学年	高学年
28	木	高学年	中学年
29	金	低学年	高学年

## きらきらロングタイム

本校では、ペア学年の交流である「きらきらタイム」の中で、年に一度の遠足で交流を深める、「きらきらロングタイム」を行っています。今年度も午前中に行います。(お弁当は必要ありません。)今年度のきらきらロングタイムの日程は次の通りです。詳細は、後日配布される各学年からのお知らせを御覧ください。

学年	実施日	
1・6年	11月 7日(火)	予備日:11月14日(火)
2・4年	11月10日(金)	予備日:11月16日(木)
3・5年	11月 6日(月)	予備日:11月13日(月)

日	曜	9月行事予定
1	金	③全学年5時間授業 朝学習 給食開始 総合防災訓練(5時間目・引取なし)
4	月	1年:4時間授業 2~4年:5時間授業 5、6年:6時間授業 朝会 委員会活動【4】
5	火	1~3年:5時間授業 4~6年:6時間授業 朝学習 クラブ活動【4】 計測(1・2年)
6	水	1~6年:5時間授業 朝学習 計測(3・4年)
7	木	1~2年:5時間授業 3~6年:6時間授業 朝学習 計測(5・6年・4組)
8	金	1~2年:5時間授業 3~6年:6時間授業 きらきらタイム
11	月	1年:4時間授業 2~6年:5時間授業 朝会 代表委員会【4】 3年スーパー見学
12	火	1~3年:5時間授業 4~6年:6時間授業 朝学習 クラブ活動【5】
13	水	1~6年:5時間授業 朝学習
14	木	1~2年:5時間授業 3~6年:6時間授業 朝学習
15	金	⑥校内研究授業時程 1~2年:5時間授業 3~6年:6時間授業 朝学習 1・2年・4組読み聞かせ
19	火	1~3年:5時間授業 4~6年:6時間授業 朝学習
20	水	1~6年:5時間授業 朝学習 避難訓練③
21	木	③全学年5時間授業 朝学習 全学年授業公開(懇談会なし)13:50~14:35
22	金	1~2年:5時間授業 3~6年:6時間授業 きらきらタイム
25	月	1年:4時間授業 2~6年:5時間授業 音楽朝会(2年)
26	火	1~3年:5時間授業 4~6年:6時間授業 朝学習
27	水	1~6年:5時間授業 朝学習
28	木	1~2年:5時間授業 3~6年:6時間授業 朝学習 5年ふれあいコンサート
29	金	⑥校内研究授業時程 全学年5時間授業 14:20下校 朝学習

能見台小学校学校教育目標:健康な心と体をもって、たくましく生きぬく子



# 学校だより

令和 5年 8月28日  
横浜市立能見台小学校

9月号

学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/noukenda>



横浜 能見台小 検索

## 自然災害への備え

校長 今井 健二

まもなく、防災の日を迎えます。

1923年9月1日、相模湾を震源とする関東大震災が発生し、東京やその周辺地域に建物の倒壊や火災などによる大きな被害をもたらしました。この被害を忘れないために、毎年9月1日が「防災の日」と定められ、各所で防災訓練等が行われます。今年度は発生からちょうど100年を迎える年です。

日本赤十字社が全国の1200人を対象に調べたデータによると、防災の日が関東大震災に由来することを「知らなかった」と回答した国民は49.2%になるそうで、特に若年世代で多いということです。また、全体の4割を超える人が、関東大震災が「どのような災害か内容までは知らない」「全く知らない」と回答しているそうです。(日本赤十字社「防災の日に関する意識と実態調査(2023年)」より)

私たちは、阪神淡路大震災(1995年)や東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)(2011年)での甚大な被害を目の当たりにし、そのたびに個人や社会全体で防災意識を高め、災害時の適切な行動や備えについて考えています。しかし、災害から時間が経つにつれて人々の記憶が薄れたり、教訓などが忘れられてしまったりすることがあります。東日本大地震が発生したのは2011年3月で、今の小学生にとっては生まれる前の出来事となっています。私たちが過去の教訓を生かすためには、どれも決して風化させてはならない出来事です。近い将来、南海トラフ沿いで巨大地震が起こる可能性は非常に高く、大きな被害が想定されています。この地震では、大規模な津波や地震自体の被害が予想され、広範囲での影響が懸念されています。

防災の日が100年の節目を迎えることにより各地で様々な催しが開催されており、人々の意識を改めて高めようと社会でも取り組まれています。学校では9月1日に自然災害等発生時における訓練を行い、子どもたちに啓発を行っていきます。また、11月18日には地域防災訓練が実施されます。先日は猛暑の中、地域防災拠点の委員が集まり防災トイレの組み立てや使い方についての確認を行っています。いつ起こるか分からない災害に対しては日頃からの備えが大切です。ぜひ御家庭でも地震や災害時の避難経路や避難場所、連絡手段について確認するなど、いざという時への備えについて考えていただく機会になればと思います。